

令和6年度 第5回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和6年11月27日(水) 17:55 ~ 18:50

【場 所】 厚田保健センター 1階多目的ホール

【出席者】 10人(14人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	立崎 寿朗	○
副会長	東 幸子	○	委員	平賀 敏和	×	委員	大内さつき	○
委員	小笠原英史	○	委員	今 光江	○	委員	石田 靖子	×
委員	小山 玲子	○	委員	森田 瞳	○	委員	角田 由希	×
委員	河合 保郎	○	委員	笹谷 清一	×	委員	欠員	

厚田支所 ~ 東支所長、吉田市民福祉課長(併 厚田学校教育課長・厚田社会教育課長)
 企画課(厚田浜益担当) ~ 幸田課長、山田主査、後藤主任
 地域おこし協力隊 ~ 奥本隊員
 集落支援員 ~ 八木沼支援員
 事務局(地域振興課) ~ 渡部課長、近藤主査、中村主任

【傍聴者】 なし

【次第】 1. 開会

2. 会長挨拶

3. 情報交換会(リラックスタイム)

4. 協議事項

(1) 過疎地域持続的発展市町村計画の達成状況に関する評価について

5. 報告事項

(1) 新たな地域協議組織について

(2) 地域おこし協力隊の募集について

(3) 子どもの居場所づくりについて

6. その他

7. 閉会

1. 開会

2. 会長挨拶

渡邊会長より、委員の皆様へ本日参加いただいたお礼と、協議事項の中で忌憚のないご意見をお願いし挨拶に代えた。

3. 情報交換会（リラックスタイム）

奥本隊員より「飯ごう炊飯体験」について、東副会長より「かごあみ体験」について、小山委員より「イルミネーションを飾ろう会」について、小笠原委員より「米-1グランプリ in らんこし」についてそれぞれ情報提供を行った。

4. 協議事項

（1）過疎地域持続的発展市町村計画の達成状況に関する評価について

【 渡邊会長 】

それでは、過疎地域持続的発展市町村計画の達成状況に関する評価について、企画課よりご説明をお願いいたします。

【 後藤主任（企画課） 】

企画課の後藤です、よろしくお願いいたします。

本市では、令和4年度から毎年、過疎計画の達成状況について、地域協議会で評価をいただいております。それでは『石狩市過疎地域持続的発展市町村計画』の達成状況についてご説明させていただきます。

グラフが載っている資料の1ページをご覧ください。

本計画では、「地域の持続的発展のための基本目標」として、「将来人口推計より人口減少を抑制し、定住人口を維持すること」としています。上のグラフの黄色線は、「市全体の将来推計人口」、濃い青色の線が、本計画の基準としている社人研推計準拠の「厚田区・浜益区」の推計人口です。

将来推計では、黄色と濃い青色の線の間隔が徐々に広がっていることから、厚田区・浜益区の人口減少は、市全体よりも若干早く進行すると推計されています。

その下のグラフをご覧ください。青色の線は、一つ目のグラフの濃い青線、厚田区・浜益区の2020年から2025年の推計人口を抜粋したものです。その下のオレンジ色の線は、住民基本台帳による実際の人口でございます。実際の人口は、上の推計値より下方で推移しており、推計値では年に64～65人の減少を想定していましたが、人口減少の速度も推計より早くなっております。

昨年の評価時点で、2022年は前年2021年からマイナス89人の2,734人でしたが、2023年の実績値では、そこから67人の減少の2,667人となりました。減少人数が22人減っております。

2025年の推計値、2,954人には届きませんが、仮に今後、2023年の実績値の前年マイナス67人で人口減少が進む場合、2025年には2,533人と予測することができます。本年は、昨年に引き続き、人口減少のスピードが抑制されたことで、最終年度の予測人口ベースでは、前年度評価の時点と比較しプラス66人改善しております。

次に人口減少の傾向についてご説明します。資料の2ページをご覧ください。厚田区分を抜粋した資料でございます。

厚田区におきましては、一つ目のグラフですが、推計人口よりは人口減少が進んでいるものの、2023年は、前年より更に人口減少が緩やかになっております。二つ目のグラフは、転入から転出を差し引いて算出する社会増減、オレンジ色の線については、ここ数年、減少幅が小さくなっており、2022年には増加に転じ、2023年はプラス14人の増となりました。また、出生から死亡を差し引いて算出する、自然増減、グレーの線については、減少数が増加傾向、右下がりの傾向でしたが、2023年は減少数が減っております。社会増減、自然増減の両方の

プラス要因により減少のスピードが抑制されました。三つ目のグラフについては、参考までに地区別の人口を年ごとに表したものであるので後ほどご覧ください。この評価に関する資料の説明は以上となります。

また、参考といたしまして、関係資料として配付しております資料には、令和3年度から5年度までの計画に基づく実施事業と産業振興促進区域の課税の特例の実績等を掲載しております。

最後に、令和5年度の達成状況に関する評価についてですが、ただ今ご説明申し上げたとおり、前回評価時点と同様に、今回の評価時点においても人口減少の抑制、改善が見られました。これらは、過疎計画に基づく事業の推進のみではなく、地域交通やあつクラ大作戦など、近説遠来を掲げての地域の取り組みや地域おこし協力隊の地域活動など、地域の皆さまの地域振興、地域運営の着実な取り組みの成果が現れているものと考えております。

本計画の基本目標である、「将来人口推計より人口減少を抑制すること」は困難な状況ではありますが、本計画の基本方針は、『地域と行政が一体となって様々な課題に取り組み、活力ある地域づくりを進めていくこと』でございます。市といたしましては、地域住民が豊かで快適な生活を送っていただけるよう、そして、人口減少を少しでも抑制していただけるよう、引き続き計画的に事業を進めて行くとともに、地域の取り組みを支援してまいりたいと考えております。地域協議会の評価をよろしく願いいたします。

【 渡邊会長 】

はい、ありがとうございます。資料や説明の仕方を工夫して分かりやすく説明していただきました。

目標設定である「人口減少の抑制」も大事ではありますが、「定住人口を維持」することも、今、生活している我々が安心して生活が送れるように事業を進めていただくことも大事であると思っています。

したがって、地域協議会の評価としましては、昨年と同様に、「地域の持続的発展のために必要なインフラ整備や住民サービスなど、計画の確実・着実な推進により人口減少の抑制を図っていただきたい」とまとめさせていただきます評価としたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。それでは、そのように進めさせていただきます。

5. 報告事項

(1) 新たな地域協議組織について

【 渡邊会長 】

続いて、報告事項に進めさせていただきます。新たな地域協議組織について、ご説明をお願いいたします。

【 事務局（近藤主査） 】

新たな地域協議組織の検討について報告いたします。

前回の協議会では、答申を行った「厚田地域の今後のあり方」のうち、「地域協議会に代わる組織」については、「地域の中で検討し方向性を出してほしい」と市から依頼があったのを受け、まずは検討委員会を立ち上げ、そこで具体的な検討を行ってから協議会に提案し協議しようということになっておりました。

検討の状況についてですが、検討委員会は、地域協議会と自治連合会から2人ずつ委員を選出し、8月と11月の2回、委員会を開催し検討を行っております。答申の「地域の重要事項を審議して市に意見を述べるなど、地域協議会が現在担っている機能はそのまま残す必要がある」とした内容を基本に、どのような形がいいのか話し合っています。

検討委員会では、「新たな組織は、無理のない、負担が掛からないものにしたい」、「合併後、住民の数が半分になっているので、委員の数は見直してもいいのでは」、などの意見も出されています。今後も地域に地域協議会的な組織を残し持続していく、さらに、地域の負担も少なくということであれば、新たな組織は、現在地域協

議会が持つ権限をそのまま残し、審議会的な機能に特化した形がいいのではと考えており、現在、そのような方向で検討を進めているところです。

今後につきましては、次回の検討委員会を年内に開催し、構成メンバーや人数などを話し合い、検討委員会としての案をまとめ、年明けの協議会に提案したいと考えております。報告は以上です。

【 渡邊会長 】

はい、ただ今の報告の中で皆さん何か確認したいことなどありますでしょうか。

【 鎌田委員 】

6月に市長への答申案を確認した時には、地域協議会については今後も必要なもので、従来どおりの組織ということでの答申だったと思うのですが、今の説明を聞くと、審議会的な要素を持った規模も小さくということなんですが、そのとおりの理解でよろしいのでしょうか。

【 渡邊会長 】

事務局でご説明いただけますでしょうか。

【 事務局（渡部課長） 】

基本的に地域協議会には、審議会的な機能と実行的な機能があるのかなと思っております。

検討委員会でも話している中で、審議会機能と実行機能の二つを兼ねてやっているものを分けた形で今後やるべきではないかという意見があります。その理由といたしましては、今の協議会の形で年に10回ほど会議を開催しており、それを合併から19年間欠かさず続けていただいております。当然その話し合いの中で素晴らしい意見も出て、方向性も色々出てきます。そのことを一度立ち止まって振り返ってみますと、方向性は出ているのですが、それに向かった具体的などころまでが中々進んでいかない状況があるのではないかとこのところが検討委員会から意見が出ています。

ですので、今後、地域自治区が廃止になった後、そこをどう動かすかといったところに着目しまして、地域での審議する場と方向性を見定める機能はしっかりと残すというを答申として市長へお返しさせていただいた内容だと思っております。もう一つの実行機能については、例えば集落支援員が核となっているあつクラ大作戦も一つだと思えますし、何か案件があれば地域の皆様方にお手伝いをしていただきながら、どんどん具体的などころまで話を進めていけるような仕組みが必要ではないかという議論になっております。

今回提案している中身は、機能は少なく規模は小さくなるような説明ではありますが、実のところ裏としましては、機能を分けた形でスタートできないかなと思っております。令和8年4月以降から動ければと考えているところです。

今後のスケジュールとしましては、先ほど担当からご説明しましたが、審議会的な機能を持った組織になりますので、人数ありきではなくどういった立場や役割の方が担うべきかというのを、その検討委員会で改めて議論していただいて、組織と規模を決めていきたいと思っております。12月に検討委員会の開催を予定しております。1月の協議会にはある程度の検討結果をご報告できるものと考えているところでございます。以上です。

【 鎌田委員 】

よく分かりました、ありがとうございます。これは浜益でも並行した議論なんですか、それとも別な話なんですか。

【事務局（渡部課長）】

はい、浜益も同様な協議をしております、浜益の方は昨日から新たな協議会の組織について話されているということは伺っております。

【渡邊会長】

そういうことですので、よろしいでしょうか。その他確認事項などありますでしょうか。

(2) 地域おこし協力隊の募集について

【渡邊会長】

次に、地域おこし協力隊の募集についてをご説明願います。

【事務局（近藤主査）】

令和6年度は、9月30日を応募締切日として約2か月間、石狩市ホームページをメインに、北海道及び移住交流推進機構のホームページ、協力隊フェイスブック、さらには東京事務所に依頼して、移住・交流ガーデンへの配架などにより、「道の駅石狩を核とした活動」をミッションとした募集告知を行いました。その結果、道外に居住している方1名の応募がありました。

現在までの選考過程についてであります、10月4日に地域おこし協力隊活用検討委員会を開催し応募者の報告を行うとともに、同日付けで支所において書類審査を実施した結果、当該応募者について第1次選考「合格」であることを決定いたしました。

その後、「おためし地域おこし協力隊プログラム」として、11月6日から8日まで、2泊3日の日程で厚田に滞在しながら、地域おこし協力隊、集落支援員との懇談、地域で働く方との対話を通じて、地域の方々と触れ合い厚田を知ってもらいました。また、道の駅で施設見学と業務説明を受けたほか、市内観光地の見学などを行い、ミッションをイメージしていただくことができたと思っております。

今後につきましては、つい先ほど、この会議の前に第2次選考である面接をWEBにより実施したところであり、可否を決定後、早めに応募者に結果を通知する予定にしております。仮に合格ということになれば、着任時期は本人の意向を聞きながらであります、来年の1月以降、厚田に来ていただくことになると思います。

現在選考中であるため、この場で応募者の印象などについてお話しはいたしません、厚田とつながりを持つ方が一人でも増えることを期待しています。次回の協議会で結果を報告できると思っております。

【渡邊会長】

はい、ありがとうございます。何か確認したいことなどございますか。つい先ほど、私も面接に立ち合わせていただいたわけですが、まだ選考の途中ということですので、詳細についての発言は勘弁していただきたいと思っております。

(3) 子どもの居場所づくりについて

【渡邊会長】

次に進めさせていただきます。子どもの居場所づくりについて、ご説明願います。

【八木沼集落支援員】

チラシが2枚お手元にあるかと思いますが、まず、やぎゆき便りの方から報告をさせていただきます。

このやぎゆき便りは10月に回覧で全戸に配布をしておりますので、見ていただいた方もいるかとは思っています。

子どもの居場所が厚田にはないという状況で、その中で何か出来ないかということで、まずお試しをしてみようということになり、「みんなの居場所」という名前をつけて、7月と8月にやってみました。誰も来なかったらどうしようかなと思っていたのですが、おかげさまで好評で、裏面にありますが、10名以上の子どもが集まってくれました日も多くあります。ここには載っていませんが、10月の2回目と11月の1回目も既に終わっており、毎回、子どもたちが学校帰りに直接会場に来て遊んで、帰りはお母さんにお迎えに来てもらうというような流れで開催しております。

これは、私一人でやっているわけではなく、昨年末から今年の頭にかけて子どもに関するアンケートを取った際に、「私もできることがあるなら手伝います」と言っていたお母様たちですとか、去年のインターン生として関わってくれた大学生の子ども、「自分の大学での専攻研究と重なる部分がある」とのことで、一緒にスタッフとして活動していただいております。

7月から今まで開催している中で、「子どもたちの習い事があるから、この曜日は行けないけど、この曜日なら行けるよ」とかの声があったりするので、最近は開催の曜日を変えてみたりですとか、お母さんたちの声もいただきながら色々と試行錯誤している現状です。

スタッフ5名の中では、ただ子どもが来て遊べるっていうところだけに留まらずに、学校の延長ではなく、学校でも家庭でもない第3の居場所のイメージがあり、お父さん、お母さんでもない、学校の先生でもない大人の人の関わりだったり、「自分で何かをしてみよう」と思うような企画など、「子供の発想力を発揮してもらえようことを提供できたらいいね」というお話はしています。ただ、現状、子どもたちが何が一番楽しいかという、こちらの企画なしにホールを走り回るのが一番楽しいようで、支所の事務所にいる皆さんは、足音や悲鳴などが聞こえているのではないかなと思いつつ実施しております。

また、お手元のサンタさんのチラシについては、今までずっと平日の放課後をメインでやっていたのですが、クリスマスだったり、冬休みが近いこともありまして、「土日に親子向けで1回やってみようか」ということでパフェ作りを企画しました。

これ以外にも皆さんがこういうのもしてみたいなどありましたら随時話を聞きながら、次回以降につなげていけたらと思っています。私からの報告とさせていただきます。

【 渡邊会長 】

はい、ありがとうございます。このサンタのチラシというのは、子どもたちがいる家庭にだけ配られるものなんでしょうか。

【 八木沼集落支援員 】

いえ、学校と保育園には個別に配付をしておりますが、本日丁度、回覧を配布する日だったので、その中にも入っておりますので、近く皆さんも目にするかと思っておりますので、是非覗きにきていただければと思います。

また、話が飛んでしまうんですが、以前に森田さんからこそつとやっていただいたことをここで言っちゃいますが、「エレクトーンなら私教えられるよ」と話がありました。他の方々からもそういう情報をお待ちしておりますので、合わせてそういったことを企画としてやりたいなと考えております。

【 渡邊会長 】

はい、分かりました。お時間に都合の付く方は是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

6. その他

【 渡邊会長 】

その他で、皆さんから何かございますでしょうか。

【 鎌田委員 】

先日、インフルエンザの予防接種で厚田中央クリニックに行ったときに、建物の壁近くに、カラーコーンが置いてあって、人が近寄れないようになっていたので、院長に確認したら、軒天が剥がれ落ちそうなのでといったお話があって、今日も見に行ってみたのですが、今度は建物の周りにトラロープを張っている状態でした。

クリニックという性格上、色々な人が出入りするのですが、早急に治していただきたいということと、建物の中の方も結構傷んでいる部分がありますし、維持管理というか、そこら辺を迅速にやってもらいたいなと思って見ていました。

【 吉田課長 】

市民福祉課の吉田と申します。屋根の一部の崩落につきましては、市役所の建築住宅課と業者さんとで現地の確認をしてもらいました。これから冬期間になるということで、本格的な復旧作業は雪解け後を今予定しております。

今、トラロープで人が近づけないような形にしてありますが、そこに鉄のピンを差し込んでトラロープで囲って、今よりも降雪に向けた対策を、明日行う予定となっております。

【 鎌田委員 】

分かりました。歯医者はないですが唯一のクリニックですので、どうか維持管理をお願いいたします。

それともう一点、旧厚田小学校のことなんですが、今もそうですが、バスが1台止まったきりで、活動している風も全くないのですが、今どうなっているんでしょうかね。できれば、望来や聚富の小学校の部分も合わせて聞かせてほしいのですが、特に厚田小は売買されてから利用の仕方が変わっているのでしょうか。

【 事務局（渡部課長） 】

はい、私に分かる範囲でお答えいたします。民間の方が買われたということは皆様ご存知かと思いますが、実はその契約が解除になっておりますので、今現在は市の所有となっております。

鎌田委員が言われましたキャンピングカーバスと、実は校舎の奥の方、避難階段のある方ですね、その陰に車が1台放置されている状況です。業者とのやり取りについては、担当部署である財政課の方で、早急に移動するようお願いはしているんですが、その車2台と学校を買われた方と名義が違うということで、中々うまく手続きができていないと伺っております。

旧聚富小中学校については、厚田小学校と同じようなタイミングで、医療法人へ売却をしております、そちらの方は定期的にイベント等を開いたり、教員住宅も1棟買ってございまして、そこでカフェをオープンしたりしております。地域の方も利用していますし、結構お客さんも来ているという話を聞いております。

それから旧望来小学校ですね、あそこは確か、はるにれさんの方が一度手を挙げたのですが、コロナ禍を含めてタイミングが悪かったのでその話はなくなっております。今後、望来小学校をどうするかということについては、今はまだ何もテーブルに乗っていない状況でございます。

【 鎌田委員 】

ありがとうございます。学校の裏が草ですごかったのを買った業者だと思んですが、一度草を刈ったんですよ。その後何も手入れがされてなくて、うちはすぐ裏なもんですから見えますのでね、でも今は土地も建物も市が管理しているということなんですね。

【事務局（渡部課長）】

はい、旧厚田小学校は石狩市の管理です。草刈りについては、厚田川の河川改修の工事をされていましたが会社の方が、地域の社会貢献活動の一環として、今年の灯籠流しの前に小学校敷地内の草刈りをしていただきました。

【鎌田委員】

ありがたいです。

【渡邊会長】

灯籠流しでは、我々も大変お世話になったのですが、トイレは使えない、電気は付かないと色々と制約がありました。今後あの施設をどうしていくのかなというのは、私も心配しております。

その他何かございますでしょうか。

(1) 次回日程について

12月は開催せず、1月を予定。

7. 閉会

18時50分 閉会

令和6年12月18日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 渡邊教円